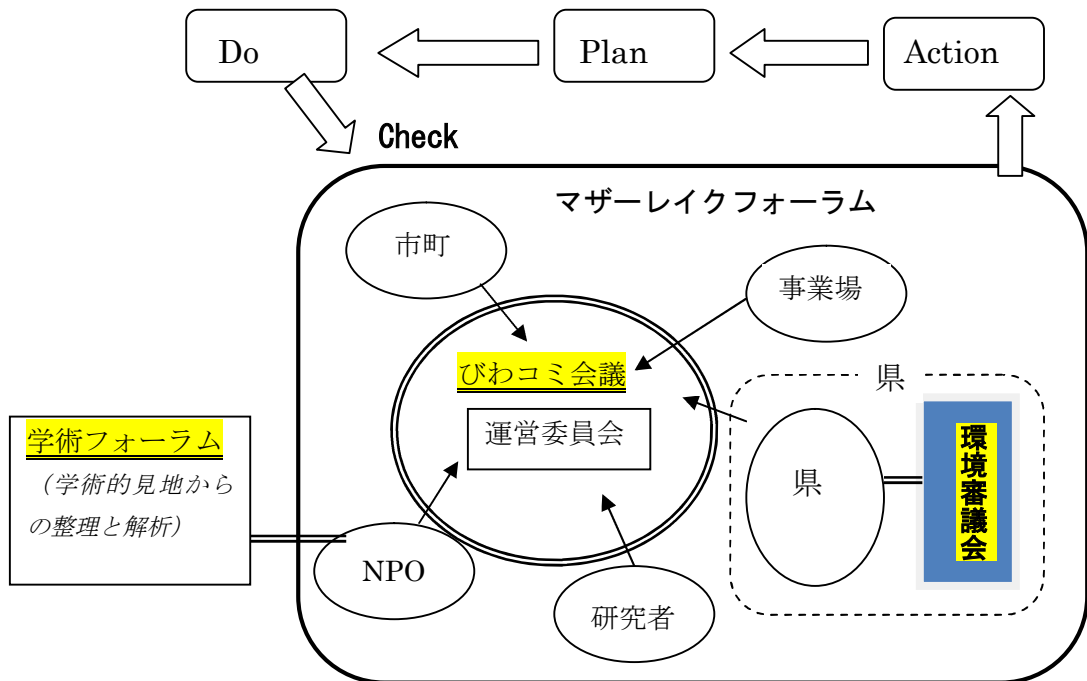


## 環境審議会琵琶湖総合保全部会と学術フォーラム、びわコミ会議の役割、位置付け等について

### ●各会議の位置付け <PDCA サイクルの Check（評価）の場のイメージ>



#### ○環境審議会琵琶湖総合保全部会の役割

琵琶湖総合保全整備計画（マザーレイク 2 1 計画）に関して、県の附属機関としての立場から、同計画に対して評価や提言を行う。

#### ○学術フォーラムの役割

琵琶湖と流域の状況を指標などを用いて整理・解析する役割を担うもので、学術的な見地から高度な提言、助言を行う。

#### ○びわコミ会議の役割

県民、NPO、事業者等の多様な主体が想いと課題を共有し、団体・地域・分野を超えたつながりを育むとともに、マザーレイク 2 1 計画の進行管理および評価提言を行う。

### ※マザーレイクフォーラム…多様な主体が交流し、評価・提言を行う「場」

#### 参考

○マザーレイク 2 1 計画は県が策定した計画だが、実施主体は県のみではなく、県民、NPO、事業者、市町等の多様な主体の取り組みが必要とされている。

#### ○県の役割

- ①多様な実施主体のうちの 1 主体としての役割
- ②全体のコーディネーターとしての役割（